

社保・国保審査委員連絡委員会

と き 平成 29 年 2 月 2 日 (木) 15:00 ~

ところ 山口県医師会 6 階会議室

報告：常任理事 萬 忠雄
理 事 清水 暢

協 議

1 インスリンとスーグラ錠の併用について

〔山口県医師会〕

糖尿病治療薬剤の併用については、本委員会等で協議を重ね、昨年（平成 28 年 9 月）の「社保国保審査委員合同協議会」の合議事項を一覧表として公表している。

この合議事項に「インスリンと経口薬併用の場合は、インスリン＋経口薬 3 剤まで認める」とあるが、スーグラ錠について査定事例が見受けられるため、会員から同合議事項との整合について問合せがあることから取扱いを確認したい。

なお、本事例のように審査委員間の合議事項と異なる取扱いが発生する場合は、電子レセプト処理が実施されている現在の審査委員会事務局において、医療機関への審査結果通知前に確認体制が整備されているか伺いたい。

〔関連記事〕「山口県医師会報」

平成 28 年 10 月号・社保国保審査委員合同協議会

審査取扱いについては従来の合議どおり。

なお、合議事項（ブルーページ）の周知については、各審査委員会（審査委員及び事務職員）において一層の徹底が図られるとともに、事務処理においても合議事項と整合するよう再確認を行うとのことである。

2 アルツディスポ関節注の投与回数について

〔国保連合会〕

アルツディスポ関節注（ヒアルロン酸）の用法は「1 週間ごとに連続 5 回投与。症状により投与回数を適宜増減」とある。6 回目以降も継続して毎週関節注を行い、2 か月、3 か月、又は 6 か月継続している事例があるが、ある程度の基準

出席者

委員

藤原 淳
小田 達郎
山下 哲男
西村 公一
城戸 研二
矢賀 健
藤井 崇史
赤司 和彦
田中 裕子
久我 貴之

委員

土井 一輝
安武 俊輔
浴村 正治
上野 安孝
村上不二夫
松谷 朗
新田 豊
湯尻 俊昭

県医師会

会 長 河村 康明
専務理事 林 弘人
常任理事 萬 忠雄
理 事 清水 暢
理 事 船津 浩彦
理 事 前川 恭子

を協議願いたい。

維持療法については、2 週間ごとを目安とする。

3. 消炎鎮痛等処置の回数について〔国保連合会〕

消炎鎮痛等処置の頻回の算定事例（16 回～ 25 回）が散見される。1 か月の消炎鎮痛等処置の回数について協議願いたい。

頻回算定の医療機関については個別対応とし、その必要性により審査判断される。


4 スтероイド等治療前の HBs 抗原等の検査について〔支払基金〕

難聴等に対するステロイド等治療前の標記検査（HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体検査）については、B 型肝炎のガイドラインに従って認めているが、レセプトへの注記の必要性について協議願いたい。

注記を必要とする。

※以上の新たに合意されたものについては、平成 29 年 4 月診療分から適用する。






〈登録無料・秘密厳守〉

後継体制は万全ですか？

DtoDは後継者でお悩みの開業医を支援するシステムです。まずご相談ください。



お問い合わせ先

0120-337-613

受付時間 9:00～18:00(平日)

よい医療は、よい経営から

総合メディカル株式会社

www.sogo-medical.co.jp 東証一部(4775)

山口支店 / 山口市小郡高砂町1番8号 MY小郡ビル6階
TEL(083)974-0341 FAX(083)974-0342
本 社 / 福岡市中央区天神
■国土交通大臣免許(2)第6343号 ■厚生労働大臣許可番号40-コ-010064